

都市再生整備計画 事後評価シート
松山市三津浜地区

平成26年3月

愛媛県松山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県		市町村名	松山市		地区名	松山市三津浜地区			面積	92ha		
交付期間	平成21年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	317百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(市道三津浜53号線・1号線・42号線)、高次都市施設(松山市地域交流センター)										
		提案事業	地域創造支援事業(『三津の渡し』渡船建造、三津浜厚生福祉センター取壊、三津浜児童クラブ整備)、まちづくり活動推進事業(『坂の上の雲』のまちづくり事業)										
			事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-										
		提案事業	-										
	新たに追加した事業	基幹事業	-										
提案事業		-											
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	地域交流拠点施設の利用者数	人	14,000 8,555(補正值)	H19	16,000	H24	モニタリング	評価値	△	あり なし	拠点施設が整備されることにより、地域交流活動が活発化したことによる。	-
	指標2	子育て支援施設の利用率	%	25 21.9(補正值)	H20	40	H24		28.7	△	あり なし	支援施設が整備されたことにより、利用者数が増加したことによる。	-
	指標3	高質空間の通行者数	人	720	H20	820	H24		401	×	あり なし	ハード面の整備は整ったが、それを活かすソフト面が不足していたことによる。	-
	指標4	地域まちづくり活動の回数	回	10	H20	20	H24		20	○	あり なし	活動拠点となる地域交流センターが整備されたことによる。	-
	指標5										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	三津駅の乗降者数	人	1,920	H19			モニタリング	評価値			三津浜地区の交流人口が拡大されたことによる。	-
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	計画の進捗管理については、地元との会合等で随時、進捗状況を情報公開し、地元住民の意向に沿った進捗管理を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●		
	持続的なまちづくり体制の構築	当該地区では、市民と行政がそれぞれの役割を分担しながら、連携・協力してまちづくりを行うために活動の主体となる「三津浜地区まちづくり協議会」を平成22年5月に設立し、「住民主体の計画性あるまちづくり」に取り組んでいる。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今後も引き続き、市と協議会の協働によるまちづくりを継続して推進していく。	

様式2-2 地区の概要

松山市三津浜地区(愛媛県松山市) 都市再生整備計画の成果概要

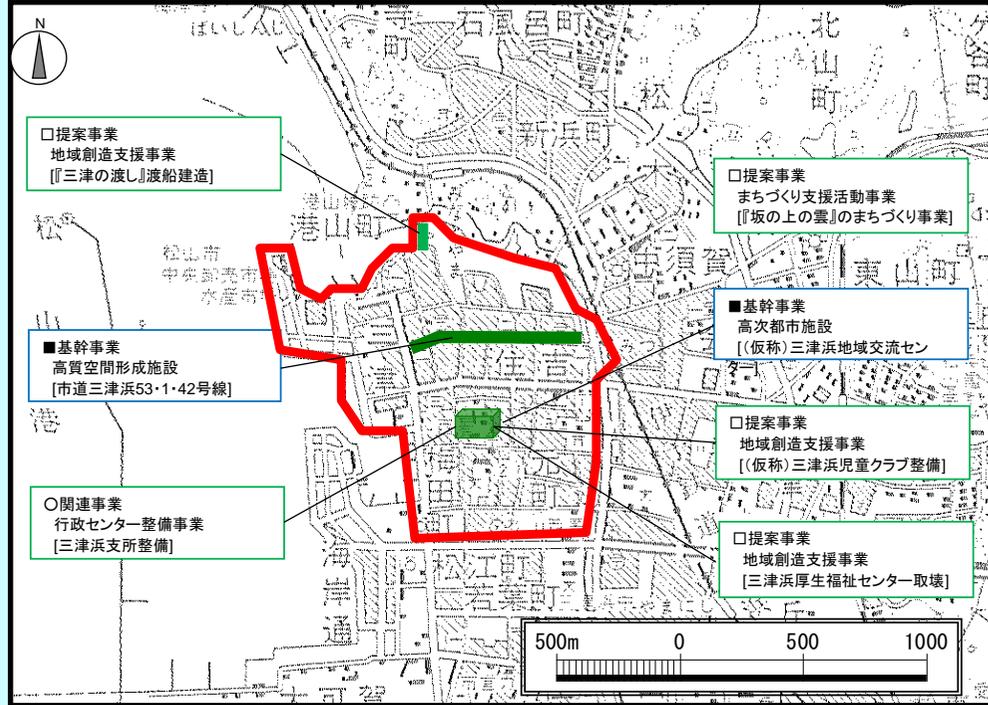
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:『渚文化の拠点』としてのアメニティ向上を図り、住民・来訪者が共に快適に過ごせる、魅力・活力あふれるまちづくりを実現する 目標1:地域交流・子育て支援を目的とした地域の“核”となる拠点づくりを目指す。 目標2:地域の魅力を創造するため、古くから残る地域固有の文化資源を活かした回遊性の高い空間を実現するため、地域の魅力を創造する。 目標3:持続的なまちづくりを行うため、地域コミュニティの体系化を図る。	地域交流拠点施設の利用者数	14,000 8,555(補正値)	H19 16,000	H24 10,628
	子育て支援施設の利用率	25 21.9(補正値)	H20 40	H24 28.7
	高質空間の通行者数	720	H20 820	H24 401
	地域まちづくり活動の回数	10	H20 20	H24 20
		単位:	H	H



■基幹事業 高質空間形成施設
[市道三津浜53・1・42号線]



■基幹事業 高次都市施設
[(仮称)三津浜地域交流セン]



■基幹事業
高質空間形成施設
[市道三津浜53・1・42号線]
高次都市施設
[(仮称)三津浜地域交流センター]

□提案事業
地域創造支援事業
[[三津の渡し]渡船建造]
[[仮称)三津浜児童クラブ整備]
[三津浜厚生福祉センター取壊]
まちづくり支援活動事業
[[坂の上の雲]のまちづくり事業]

○関連事業
行政センター整備事業
[三津浜支所整備]

凡例
■ 基幹事業
□ 提案事業
○ 関連事業



□提案事業 地域創造支援事業
[[三津の渡し]渡船建造]



□提案事業 地域創造支援事業
[[仮称)三津浜児童クラブ整備]



□提案事業 地域創造支援事業
[三津浜厚生福祉センター取壊]

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備や施設整備を行うことにより、住民主体のまちづくりの機運がより高まった。 今後は本事業により進められた基盤整備を活かすソフト事業の展開が必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 当該地区は「海の玄関口」としての歴史・文化資源が多数存在しており、それらを利用したまちづくりを地域の関係団体と連携し推進していく。 地域における人口減少、高齢化が進む中、若者世代にも魅力あるまちづくりを推進していく。 古くからの風情ある街並みを活かし、地区内外からの来訪者を促し、賑わいの創出を図る。